

報道機関各位

新日本無線、SAWフィルタファウンドリービジネスに参入 —日本無線からSAWフィルタ事業も移管—

このたび新日本無線では、2012年10月からSAW（Surface Acoustic Wave／弾性表面波）フィルタファウンドリービジネスに新たに参入しますのでお知らせいたします。

また、日本無線からSAWフィルタ事業の移管を受けることといたしました。これまでSAWフィルタは日本無線が製造・販売しておりましたが、シリコン半導体製品の量産を得意とし、かつ高周波モジュール事業へ展開が可能な当社が引き継ぐことで、さらに業容の拡大を目指してまいります。

日本無線、新日本無線は日清紡ホールディングスのエレクトロニクス事業の中核を担っています。引き続き両社のシナジーを追及し、エレクトロニクス事業の発展に努めてまいります。

SAWフィルタファウンドリービジネス

当社では、昨年より推進している事業構造改革の一環として、川越製作所（埼玉県ふじみ野市）のシリコン半導体前工程を統合し最適化を図りました。統合後のクリーンルームの一部をSAWフィルタファウンドリービジネスに活用することで、生産稼働率を高め、収益力の拡大・向上を図ってまいります。

一方、電子部品業界では、昨年来の度重なるサプライチェーンの問題に端を発し、生産拠点の分散化によるBCP（Business Continuity Plan／事業継続計画）の確立が強く求められています。当社のファウンドリービジネスが業界内のBCP推進に大きく貢献するものと確信しております。

ファウンドリービジネスとして、まずは月産5,000枚からスタートし、月産10,000枚～15,000枚を当面の目標に事業の拡大に努めてまいります。

日本無線からのSAWフィルタ事業の移管

これまで日本無線が埼玉工場（埼玉県ふじみ野市）で一貫生産してきたSAWフィルタ事業は、2012年12月以降、当社が製造・販売を順次引き継いでまいります。

この移管により、上記のファウンドリービジネスにとどまらず、モジュールメーカー、通信機メーカーなどへの製品販売も視野に入れて展開していきます。

SAWフィルタとは

特定の周波数の電気信号を取り出すフィルタとして、主に携帯電話、スマートフォン、タブレットPCなどの移動体通信機器やTVチューナー、自動車エレクトロニクス、GPSなどのキー部品のひとつとして幅広い分野で使用されているものです。

以上

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

新日本無線株式会社

総務本部 総務部

担当：秋松

電話：03-5642-8222

半導体販売事業部 第1商品企画部広告企画課

担当：西田

電話：049-278-1497